

【社会資本総合整備計画】

都市再生整備計画 事後評価シート
蓮田SAスマートインターチェンジ周辺地区

平成27年2月

埼玉県蓮田市

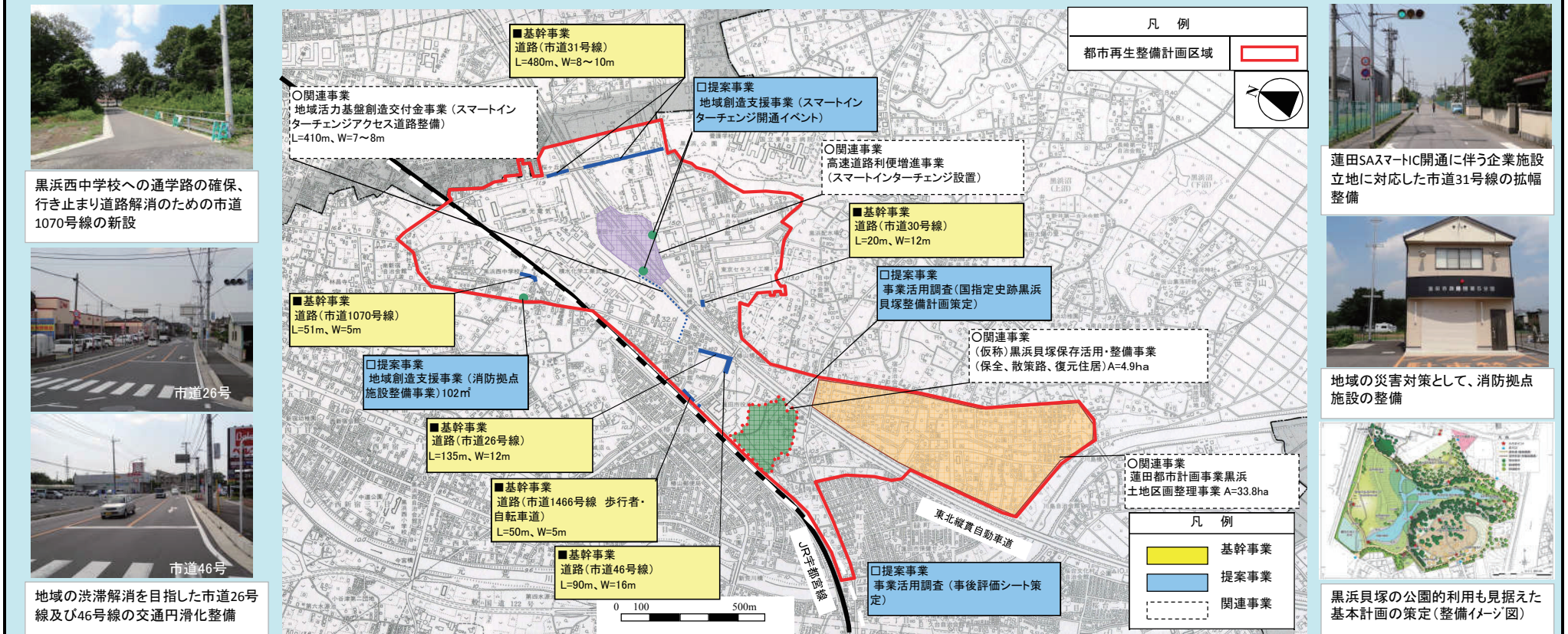
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	蓮田市		地区名	蓮田SASマートインターチェンジ周辺地区			面積	165 ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年		交付対象事業費(百万円)	376	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		事業名 道路(市道26号線・市道46号線・市道30号線、市道31号線、市道1070号線、市道1466号線)								
			提案事業		スマートIC開通イベント、消防拠点施設整備事業、黒浜貝塚整備活用基本計画策定								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		-		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		提案事業		黒浜緑町地区地区計画策定		地域住民の理解が得られなかったため中止		事業の削除は指標に関係するが、目標及び指標は据え置く。				
	交付期間の変更		当初		平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
			基準年度		目標年度		モニタリング		達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	単位						評価値						
	指標1	渋滞の長さ	m	220	H20	140	H26	-	105 (H26.5)	○	あり なし	従来より課題であった、サービスエリア周辺の交通渋滞について、スマートICの開通に伴い市道26号線及び市道46号線の周辺道路の交通円滑化整備等を行うことにより、朝夕等の渋滞の減少につながった。	-
指標2	定住人口	人	4,725	H21	4,860	H26	-	4,775 (H26.5)	△	あり なし	関連事業である土地区画整理事業による住環境整備とともに、周辺交通環境の改善や防災機能の向上を図ったことにより、定住人口の増加につながったものの、目標値には達しなかった。 ● 計画期間と主要な保留地の処分時期がずれたことや、高齢者も多く住まわれていることからの人口の自然減もあり、大幅な定住人口の増加にはつながらなかった。	平成27年4月	
指標3	黒浜貝塚の来訪者数	人	60	H21	860	H26	-	973 (H26.5)	○	あり なし	関連事業である黒浜貝塚保存・活用整備事業(文化財展示館整備等)や講座やイベントを実施した。黒浜貝塚の公園的利用も見据えた整備活用基本計画の策定により、今後の整備に向けた機運も高まった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
		単位		基準年度		目標年度		モニタリング		達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期
その他指標1													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・蓮田スマートインターチェンジ開通は、目標値一日あたりの利用台数2,467台を上回る約3,000台に達し、周辺企業への通勤等の利便性が高まった。 ・黒浜西中学校への通学路整備により、学校へのショートカット、行き止まり道路の解消、自転車歩行者の安全性確保が達成できた。 ・国指定史跡黒浜貝塚の基本計画が策定され、今後の市役所遊歩道との一体的な整備により、市民の憩いの空間づくり(拠点化)に向けて前進した。 ・蓮田市消防団第5分団旧詰所は老朽化し安全性に問題があるうえ、見通しの悪い道路のカーブに立地していたが、消防拠点施設整備事業により移設され、団員の火災出動や消火ホース洗浄等の作業時に安全性が高まることにより地域の防災性が一層充実した。 ・関連事業である土地区画整理事業では、公園や緑地などの整備により住環境の整備や街並み景観の向上が図れた。 ・黒浜土地区画整理事業地内では、計画期間内の5年間で65件の住宅建設が行われ、若年層(34歳以下)人口等の着実な増加により、地域活力の維持につながっている。 												
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	住民参加プロセス		蓮田市商工振興審議会 審議会は、市長の諮問に応じ、商工業の振興に必要な事項を審議し、調査研究を行った。、具体的には、事業整備効果を検証してもらうとともに、スマートICフル方向化や直売所、周辺道路整備についての意見を頂いた。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 蓮田市商工振興審議会の委員と、まちづくりについて定期的に意見交換し、今後の事業に活用する。		
	持続的なまちづくり体制の構築		-				-				-		

様式2-2 地区の概要

蓮田SAスマートインターチェンジ周辺地区(埼玉県蓮田市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	従前値	目標値	目標値	評価値	評価値
大目標: 円滑な交通を確保した快適な住環境づくり 目標1: 交通の円滑化により、市民の交通便利性の向上を図る。 目標2: 安心して暮らせる住環境の形成を図る。 目標3: 地域資産を活用し、蓮田の魅力向上を図る。	渋滞の長さ	m	220	H20	140	H26	105	H26
	定住人口	人	4,725	H21	4,860	H26	4,775	H26
	黒浜貝塚の来訪者数	人	60	H21	860	H26	973	H26
	-	-	-	-	-	-	-	-



まちの課題の変化

- サービスエリア周辺の交差点の滞留時間の長さが課題であったが、スマートICの開通に伴い市道26号線及び市道46号線等の周辺道路の交通円滑化整備等を行うことにより、朝夕等の渋滞の減少につながった。
- 黒浜貝塚の保全・整備や周辺道路の整備等が不十分であったが、黒浜貝塚の保全・整備(文化財展示館整備等)や周辺道路環境の整備等により、黒浜貝塚が活用されやすい環境基盤を整備することができた。
- スマートIC開設に合わせた黒浜貝塚等への来訪者増による地域活性化を図る必要があったが、黒浜貝塚の保全・整備(文化財展示館整備等)や、講座やイベントの実施により、来訪者の増加につながった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 整備された黒浜貝塚の文化財展示館をベースに、講座やイベントを継続及び充実により、更なる来訪者の増加、定着を図る。
- 策定した黒浜貝塚の基本計画をもとに、市役所と一体となった黒浜貝塚の公園的利用も見据えた整備を推進し、地域活性化を図る。